



自彊日新

令和7年(2025年)6月号
加賀市立片山津中学校 学校通信
文責 勝木 一弘

【学校教育目標】

「自律・協働・創造の意志を持って主体的に生きる生徒の育成」

廃品回収が変わります〔6月29日(日)実施予定〕



片山津中学校に在籍する生徒がいるご家庭から資源を持参していただく形での回収となり、一般の皆様からの回収作業は行われません。ただし、資源回収のために資源を保管していただいている方が、片山津中学校に生徒が在籍している保護者にお預けいただいたり、ご自身で片山津中学校までご持参いただいたりすることは可能です。

生徒数・保護者数及び教職員の減少や街中に資源回収場所が増えていること等から規模を縮小して行うこととしました。ご理解とご協力をお願いいたします。

① 日時 6月29日(日) 午前8時～10時(小雨決行)

〈※予備日 7月6日(日) 同時刻〉

② 回収品目 雑誌、新聞紙、ダンボール等

(ビン・缶・金物類・布類は回収しません)

*新聞紙はチラシと分けて、できるだけ紙ひもでくくってお出し下さい

すわとん校内カフェ〔5月20日(火)〕



ふれあい面談に合わせて、学校運営協議会(CS)主催で今年度1回目の「すわとん校内カフェ」が開かれました。中学生と地域の方が気軽に話したり、相談したりできる場を設けようという企画です。地域の皆さんからの手作りおやつや飲み物が振舞われ130名を超える生徒が交流を深めることができました。



～ふれあい面談とは～

学期に1度、「ふれあい面談」を行っています。生徒一人ひとりと面談をすることを通して、安心・安全に学校生活を送れるように、相談しやすい関係を作ることを目的としています。生徒自身が、片中の先生の中から面談する相手を指名して面談を行っています。

避難訓練〔5月27日（火）〕

中間テストを終えた午後に避難訓練を行いました。片中では3年生の修学旅行で防災学習をするために阪神淡路大震災の様子を知ることのできる「人と防災未来センター」を訪れます。そこで、数年まえから地震が起きた後火災が発生したという想定で避難訓練を実施しています。今回は、消防隊員の方に避難指導をしていただくだけでなく、能登半島地震の復旧に行かれた時の様子などのお話をしていただき、防災意識を高めました。



学力向上研究校指定事業 第1回研修会〔6月6日（金）〕



今年度、加賀市の「学力向上研究校」に指定を受けて計4回の研修会を行います。講師には、私（勝木）が5年前から著書やSNS等で学ばせていただいている苫野一徳熊本大学准教授をお迎えすることができました。苫野先生の教育理念は私の学校経営のアンカー（錨）となっています。尊敬して止まない苫野先生に直接指導をいただける喜びに胸がいっぱいな一日となりました。今後も8月・11月・来年1月と研修を深めていきます。今回の研修には

松本教育長を初め指導主事の方や市内6校から11人の方も参加していただきました。

苫野先生のご専門は教育哲学です。片山津中学校に「対話の文化・仕組み」を構築したいと考えています。苫野先生がすすめる哲学の対話方法である『本質観取』を研修に中心において学んでいく予定です。

～苫野 一徳(とまの いっとく)先生のプロフィール～

哲学者・教育学者

1980年生まれ。熊本大学大学院教育学研究科准教授。博士（教育学）。早稲田大学教育学部卒業。同大学院教育学研究科博士課程修了。専攻は哲学・教育学。経済産業省「産業構造審議会」委員、熊本市教育委員のほか、全国の多くの自治体・学校等のアドバイザーを歴任。著書に『学問としての教育学』（日本評論社）、『「自由」はいかに可能か』（NHK出版）、『どのような教育が「よい」教育か』（講談社選書メチエ）、『勉強するのは何のため?』（日本評論社）、『はじめての哲学的思考』（ちくまプリマー新書）、『「学校」をつくり直す』（河出新書）、『教育の力』（講談社現代新書）、『子どもの頃から哲学者』（大和書房）など多数。